

統一地方選挙勝利目指す ネットSNS活動について

●SNS活動の条件と可能性について

●どう取り組むか？

一府・地区・議員・候補者力を会わせて

2022/10/7 府委員会主催
ネットSNS交流と実践講座
党府宣伝部責任者 伊木知史

1、SNS活動の条件と可能性について

統一地方選挙勝利にむけて、現にもってる名簿、むすびつき、テレデータでの働きかけ、大量宣伝、折り入って作戦など多くの知恵と力を合わせて取り組んでいます。

「日中、訪問してもいない」「電話番号がわからない」など現役世代と繋がり党の政策を伝え支持を広げることは難しい

率直に言ってこの現役世代に党の支持を広げなければ勝利をつかむことはできない

これらの世代は、普段からSNSでつながりあい、情報を入手しています。この世代に広く働きかけるには、SNSの活用は欠かせず、この世代に票を広げるにはSNSは絶対不可欠

強調したいことは、SNSは統一地方選挙に勝利する上で不可欠なツールということです

参議院選挙の教訓を引き出し——統一地方選挙勝利にむけて

はじめに・・・28回大会で、SNSをどう位置づけたか？

28回大会決定第一決議第4章

「新しい情勢にふさわしく、選挙方針を抜本的に発展させよう」

①選挙の担い手を思いきって広げ、みんなが立ち上がる選挙

インターネット・SNSも駆使し、JCPサポーターの拡大・強化を全党で取り組み、市民サポーターと地域・職場での結びつきをつよめる。

②若い世代がいきいきと選挙に

批判とともに希望を語る政治論戦、双方向の宣伝・組織方針、インターネットやSNSの活用など、新たな選挙方針を実践することは、若い世代が生き生きと力を発揮するために欠かせないものとなる。若い世代の声に耳を傾け、選挙活動の自己改革をさらにすすめていく。

1、SNS活動の条件と可能性について

①綱領と科学的社会主義にもとづいた政策の響き合い



1、SNS活動の条件と可能性について

②現役世代と繋がり担い手を広げる条件と可能性



50代で6割、40代で8割、20代、30代では9割、日本人の約7割がSNSを活用している

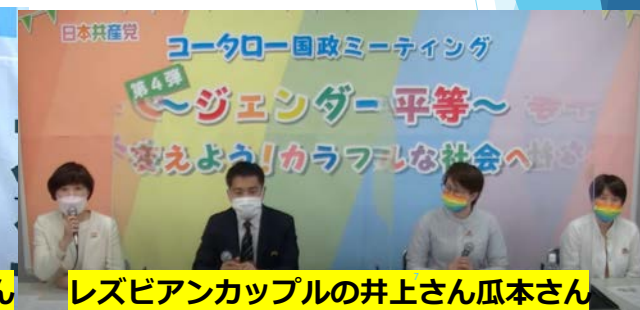
1、SNS活動の条件と可能性について

大阪で100人を超えるボランティア全員50代以下

どんな思いで…？



JCPサポーターみさきさん



レズビアンカップルの井上さん瓜本さん

1、SNS活動の条件と可能性について

②現役世代と繋がり担い手を広げる条件と可能性

SNSを通じての赤旗申し込みは、昨年1年の申し込みの58・4%が50代以下

参議院選挙で、東京、大阪、愛知などSNSをみてボランティアに参加した人は50歳以下が9割、女性が8割

1、SNS活動の条件と可能性について

ボランティアに参加する皆さんに共通するのは？

新自由主義の矛盾を感じて…

「政治に関心はあるが、周りとは話せない」「共産党を応援している友だちが多く、話をすると政治を変えたい気持ちを持っているが、仕事や生活が大変で声をあげたり活動に参加したりするゆとりがない。」

維新への気持ちの変化も…

「今まで維新に投票していたが、意見が合わない人を排除するやり方に嫌気がさしていた時に、SNSで辰巳さんの演説をみて応援したくなった」

ジェンダー平等、働き方、維新、気候危機、立ち上がるきっかけはSNS

1、SNS活動の条件と可能性について

③立党の精神である『国民の苦難軽減に力を尽くす』上で重要なツール

コロナ関連・暮らし・災害など、**行政が行うサービス**の情報提供は非常に重要。

現役世代は、その情報を**ネットSNS**から受け取る

辰日元参院議員の生活相談はホームページやLINE、Twitterから！

ほとんどが現役世代からで、派遣切りにあったという男性、時には「死にたい」という深刻な相談も

東大阪市議の上原さんは、ツイッターの投稿に携帯番号を載せ、発信にも工夫すると子育て世代からの相談も。

9

担い手って？

JCPサポーター大阪の40代のFさん

「コロナ禍で政治に関心を持ち、コロナ禍で言語化できない不安感と当時の政権への不満を強く感じ、Twitterを中心に情報収集をはじめた際に、自分の考えと合う人の発言や情報を収集する中で、日本共産党の議員さんや黨員さんの投稿などに共感した。そしてサポーター大阪に参加することになった」と話しています。Fさんは、総選挙、参院選挙で、自営業の繋がりや友人みんなに、共産党の政策を伝え支持拡大に頑張りました。

担い手は、現役世代への支持拡大→さらなる担い手へ

11

2、それではどう取り組むか？

大事なのは、SNSを選挙でどう票にしていくか？

SNSのつながりを一票にするには、心の琴線にふれる動画、選挙の予定を知らせるバナー広告などの発信は大事だが、一方通行で知らせるだけでは足りない。それでは票になってるか、なってないかわからない。

SNSを使ってむすびつき、「**担い手**」になってもらうことは支持の訴えを確実に広げる力に。そのためにSNSを位置づけることが大事。

10

府委員会として取り組むこと

①全ての候補者がSNSに取り組むことに挑戦します

②議員・候補者用の府選挙宣伝部LINE公式アカウントを作成し、各地域や候補者の進んだ実践経験など情報提供を行います



**←府選挙自治体部LINE公式
ぜひこちらから登録して下さい！**

③ボランティア募集のバナーや日程告知バナーなど、だれでも使えるようなテンプレートを作成・提供します。



日本共産党 街頭宣伝



チラシ配り
大募集！

2、議員・候補者が取り組んでほしいこと——地区・選対と一緒に

①Twitterに挑戦しよう！

SNSにはFacebook、Instagram、Twitter、LINE、YouTube、TikTokなどあり、その全てが大事なツール。

同時に、広く有権者と繋がるツールとしては、**府委員会としてはTwitterには必ず取り組む**ことを呼びかけたいと思います。

Facebook、Instagram、TikTokについては、そのツールの特性をつかみ活用する。

InstagramやTikTokは、府委員会としても挑戦する課題、その都度情報提供、また実践の共有を進めていきたいと思います。

15

日本共産党 街頭宣伝スケジュール

「チラシ配り大募集」

●月●日（●）00:00～
江坂駅にて

●月●日（●）00:00～
JR 吹田駅にて

大阪府議会議員

石川たえ



SNSの種類について簡単

Twitter(ツイッター)

- 3.4億人が利用する世界最大の短文SNS
- 日本国内では4500万人が利用
- テキスト投稿は140文字まで投稿OK
- 情報の拡散性にすぐれている
- 匿名や複数アカウントの作成がOK
- 13歳以上であれば誰でも無料で利用OK
- 動画は140秒まで投稿OK
- 2006年にサービス開始
- アメリカのTwitter社が運営



16

SNSの種類について簡単

Facebook(フェイスブック)

- 25億人のユーザー数を誇る世界一のSNS
- 日本国内では2600万人が利用
- 実名での登録が義務化されている
- 匿名アカウントは禁止されている
- 13歳以上であれば誰でも無料で利用できる
- ビジネス利用やオンラインサロンとしての活用が多い
- 日本ではユーザー数が減少している
- 2004年にサービス開始
- アメリカのFacebook社が運営
- 2010年に映画化（題名：ソーシャル・ネットワーク）



SNSの種類について簡単

Instagram(インスタグラム)

- 10億人のユーザーが利用する世界一の写真SNS
- 日本国内では3300万人が利用
- 匿名や複数アカウントの作成がOK
- ハッシュタグ（#）を使った独自の文化が浸透している
- 流行に敏感な20代～30代の女性の利用者が特に多い
- 企業から報酬を得てPRをするインスタグラマーが活躍
- 13歳以上であれば誰でも無料で利用OK
- 15秒動画のリール機能
- 24時間で消えるストーリーズ機能
- Facebookとの連携機能が豊富
- 2010年にサービス開始
- アメリカのFacebook社が運営



SNSの種類について簡単

LINE(LINE公式) ライン

- 日本で一番ユーザー数の多いSNSアプリ（8600万人）
- アカウントを取得するには携帯電話番号が必要
- 複数アカウントを取得するのが難しい
- キャリアメールやSMSに近い使い方をしている
- 家族や友人など親しい間柄で利用されることが多い
- 無料のビデオ通話が利用できる
- スタンプや既読といった機能がヒットし急速に普及した
- 利用推奨年齢は12歳以上とされている
- 2011年にサービス開始
- 日本のLINE株式会社が運営



SNSの種類について簡単

YouTube(ユーチューブ)

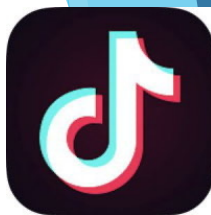
- 20億人のユーザー数を誇る世界一の動画SNS
- 日本国内では6500万人が利用
- 13歳以上であれば誰でも無料で利用できる
- アカウントを作成すれば動画のアップロードもできる
- 15分以上の動画をUPするにはアカウントの確認が必要
- 広告収益で生計をたてるユーチューバーが増加中
- 2005年にサービス開始
- アメリカのGoogle（グーグル）社が運営



SNSの種類について簡単

TikTok(ティックトック)

- 5億人が利用する中国最大の中華SNSアプリ
- ショートムービーに特化した動画SNS
- 15秒から最大60秒までの動画が投稿OK
- 匿名や複数アカウントの作成がOK
- 13歳以上であれば誰でも無料で利用OK
- ライブ配信機能(TikTok LIVE)が2020年7月から開始
- 2017年にサービス開始
- 中国のByteDance(バイトダンス)社が運営



21

#ベルばら #池田理代子

木下藤井寺市議は、藤井寺市の男女共同参画事業で「ベルサイユのばら」の作者の池田理代子さんの講演があった際に講演の内容と絡めて赤旗のジェンダーギャップ指数の記事の写真を載せて「#ベルばら #池田理代子」とつけた投稿をしたところ、全く繋がりのないベルばらファンの方にもいいね・リツイートしてもらえたという経験を報告してくれました。

まずは・・・

#日本共産党

#市区町村

#名前

23

2、議員・候補者が取り組んでほしいこと——地区・選対と一緒に

②双方向性を重視した発信に挑戦しよう

一方的な発信だけではなく、政治や社会のことを一緒に考える姿勢が大事です。現役世代からの生活相談がSNSを通じて来る時代ですので、その皆さんが情報を受け取りやすいような発信をすることが重要です。

■#ハッシュタグを活用して・・・

ハッシュタグとは、検索にひっきりより多くの人々が広げることができる、SNS上のラベルみたいなものです。ハッシュタグを活用することで、思わぬ人がリツイートしてくれることもありますし、市民の目にとまりやすくなります。

#国葬開催に抗議します #検察庁法改正に抗議します

市民の目線で自らの思いを伝えることも重要



斉藤まりこ @tsukuttenet - 6月11日

タワの駅頭宣伝で、女性が私のところに駆け寄ってきました。「学校の五輪観戦をやめさせてください！」と切実な訴えでした。近くの中学校の教員だと。下見に参加して、感染のリスク、熱中症とマスクの危険、とても安全だとは思えないとのことでした！#五輪中止の決断を #学校観戦ただちに中止



35

787

1,763

1



新婦人大阪北支部

@njwa_oosakakita

4月から子どもが中学生、制服の採寸に行ってきました。制服代が高くてビックリ！夏服、冬服、体操服あわせて79000円、他にもまだ金額のわからない必須用品がたくさんある。授業料や教科書代以外の出費が多すぎる。義務教育くらい、必要経費の半額補助くらいして！

午後2:11 · 2021年3月4日 · Twitter Web App

2,359 件のリツイート 302 件の引用ツイート 7,817 件のいいね

24

2、議員・候補者が取り組んでほしいこと——地区・選対と一緒に

③ 活動の報告だけでなく、これからの活動の告知を

活動の報告と同時に、担い手を広げるためにも、街頭宣伝や演説会など日時・場所をしっかり告知し、またボランティアのお願いも合わせて行うことが大事です。

参院選では、告知バナーをみて街頭演説にボランティアに訪れる方が相次いだ！それは参院選後も続いている。

府委員会で提供するテンプレートバナーもぜひ活用して下さい！

25

＜恐れる必要はないけど、気をつけること＞

●ネットの負の部分や特徴もよくつかんで

- ・匿名性
- ・グーグルやフェイスブックなど、ネット企業の問題
- ・意見投稿などは、個人情報にかかわるようなものは書き込まない。その関係で言うと、集合写真や個人を特定できる写真などのアップはしないこと。
- ・音楽、歌詞、画像、新聞や雑誌の記事などを紹介するときは、著作権違反にならないように、特に注意する。
- ・ネット右翼など誹謗中傷は無視し、相手にしないこと。

●党の内部問題は、党内で解決する

- ・ブログやツイッター、フェイスブックに投稿するということは、公開の場所で、ハンドマイクに近い大きな声で、友達としゃべり合っているのと同じ。

27

2、議員・候補者が取り組んでほしいこと——地区・選対と一緒に

④選対・地区でSNSチームをつくり発信も集団で取り組もう

「党の方針や政策について間違っただけを言ってしまうのか不安で発信を躊躇する」「ネトウヨに絡まれないか不安」「フォロワーからの要望にどう応えたらいいかわからず発信を控えている」など悩みを一緒に考えて集団の力で発信を！

「正確な情勢判断」を、担い手の力を引き出すためにもSNSでしっかり伝える

「なりすまし」など——嫌がらせや党への攻撃にも適切・機敏に対応するためにもチームは重要

26

最後に・・・6中総では

「インターネット・SNSも活用して、JCPサポーターを広げ、選挙ボランティアを大胆につのり、ともに選挙をたたかう楽しい選挙戦にしていきます」

国民の変化を感じ、わくわくし、その繋がった皆さんと一緒に活動する楽しみを実感しています。ぜひ、今日の交流と実践講座を力に、ネット・SNSの活動を広げ、楽しい選挙戦にいきましょう！

28